地域とともにある学校づくり 滝川市のコミュニティ・スクール 令和2年度

たきかわCS通信



滝川市教育委員会 教育部 教育総務課 令和3年 1月28日発行 ─ 第 24 号 -

~ 学校・家庭・地域が一体となり、地域ぐるみで子どもを育てる体制~ 【実践例紹介】

開西中学校 3年生 道德授業

講師 滝川市教育委員会 学校運営課





優勝した時のお写真 すごくカッコよくて、 感動しました!

中体連スキーの大回転・ 回転の2種目で日本一にな りました。 主任級主事 高澤 優さん(開西中学校 平成13年度卒業生) 🕸

~ 卒業生からのメッセージ ~

よりよく生きるために 今 後輩に伝えたいこと①

開西中学校では、12月1日(火)と1月22日(金)に開西中学校の卒業生を外部講師として招き道徳授業を実施しています。

今回は、講師 高澤 優さんの授業の様子をご紹介致します。

開西中学校では、12月1日(火)3年生の道徳で、開西中学校卒業生 滝川市教育委員会 学校運営課 職員 高澤 優さんを講師としてお迎えし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に留意しながら、

授業が行われました。

を通して得られた、 最高峰である中体連の大回転 大学の中退 今 後輩の本校三年生に対して語りかけま 中学生が自分の進路に向けて取り スキーとの関わり、 ナショナル 本校在校時、アルペンスキ 「勉強することの意味、 再入学と様々な人生の節目 学びや人との関わりにつ ルチーム 優様に感染症対策に留 年 にも在籍されて 回転の二種目 怪我による挫 生の時に そし

自分のやるべきこと、できることは何かを考え、実行するこことは何かを考え、実行するこことは何かを考え、実行するこことは何かを考え、実行するこことは何かを考え、実行することが大切です。



高澤 優さん

授業は、松本教頭の進行で、 高澤さんのお話の区切り毎に、 随時課題に取り組みながら進め られました。

高澤さんは、滝川市出身で、小 ■ さい頃からご両親の勧めでスキー



進行 松本教頭

を始め、出場した大会は全て優勝し、周りの期待 に応えようという一心で育ったそうです。



橋本展晴校長·松本浩幸教頭



開西中学校

しかし、自分の中ではあまりスキーを 好きになれないまま中学校3年生の時、 全国大会で2種目(回転・大回転)優勝、 その後、怪我をするも高校・大学とスキーを継続、そして、その中で様々な葛藤 と挫折感を味わい、大学を中退されます。

ことを学んでいきましょう。今日は、高澤先生から色々 廊下に掲示されている写

松本教頭より講師紹介





課題に真剣

に取り組ん



授業の様子

ポジティブな言葉を使うと自分に返ってきます。 必ず全部。自分がしたことは、将来的に何かにな って返ってきます。まず、すぐにできることは友 達のよいところを見つけて褒めることです。



A組の授業全体の様子

頑張って自分のやってきたことは絶対に無駄では ない。コロナで大変な状況だけど、逆境をチャンス じゃないかと考え直せるか。ダメにするのも自分、 良くするのも自分だと大人になってわかりました。



真剣に話を聞く生徒たち

もっとちゃんと勉強しておけばよかったなと思う ことが、実はたくさんあった。勉強って無意味では ないです。絶対にやっておいた方がいいです。



B組の授業全体の様子









そして、どん底の中にいた高澤さんを温かく迎えてくださったのが、開西中時代 の親友とご両親であり、「とても支えられた」と当時の心境を話されていました。

そこからまたやり直し、大学に再入学され、今度はご自身の「やりたい」という 素直な気持ちからスキーを再開され、大学4年生の時、国体で見事優勝されました。

「初めてスキーをやっててよかったな。自分のためにやったなと思い、初めて嬉し くて泣いた試合でした。」高澤さんの言葉から、今までの色々な辛さ・苦しさ、そ して、友人・家族に支えられ乗り越えられた時の大きな喜びが伝わってきました。

《生徒のみなさんが感じたこと》~抜粋~

☆よりよく生きるために必要なこと

短時間にしっかりと自分の考えをまとめ、発表できる生徒の皆さんと その思いを頷き優しく受け止める松本教頭の姿がとても印象的でした。

- ・褒めるということが大切。あたりまえをあたりまえにできる人になって生きたい。
- ・迷ったら立ち止まったり、逃げたりしてもいいから、自分の持っている知識・経験で 最善の判断をすること。ポジティブに考えて行動することが大切。
- ・周りや支えてくれる人を大事にして、悔いの残らないように一日一日を生きること。
- ・「自分」がやりたいことを精一杯頑張る。時間を大切にして「今」できることを全力で!

·何よりも大切なのは t r y だと思う。行動しなければ何も変わらない。

高澤さんの「迷った時に、正しい判断ができる人になるためには、多くの知識と 経験を持つことが最良の近道。そのためには、勉強したり、多くの人と語り合った り、周りの人を大事にしながら、一日一日をポジティブに生きることが大切です。」 特に、「あたりまえと言われていること(挨拶や返事等)や今自分ができることにしつかりと日々 取り組めば、自分にとって必ず最良の道が開かれていくと思います。」というメッセー ジが力強く伝わってきました。そして、高澤さんから多くのことを学び、自らの言 葉でしっかりと記述し、発表できる生徒の皆さんもとても素晴らしいと思いました。

コロナ禍の中、高澤さん、開西中学校の橋本校長、松本教頭をはじめ諸先生方、 生徒の皆さん、心に響く素晴らしい授業を、本当にありがとうございました! 羚